Form No. 3408-713 Rev A

シールキット

Greensmaster® 800/1000/1010/1600/1610 グルーマ駆動システム用

モデル番号136-7200

取り付け要領

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	–	機体の左側の準備を行います。
2	ガスケット リング スペーサ	1 1 2	キットの左側部分を取り付けます。
3	必要なパーツはありません。	–	機体の右側の準備を行います。
4	スペーサ	2	キットの右側部分を取り付けます。

1

機体の左側の準備

必要なパーツはありません。

手順

1. リールがトラクションユニットに取り付けられている場合は、エンジンを停止し、駐車ブレーキを掛け、キーを抜き取り、マシンを確実に固定する。
2. グルーマリールを取り外す対応するグルーマ駆動システムの*オペレーターズマニュアル*を参照。
3. グルーマハウジングのカバーとガスケットを取り外す図 1。

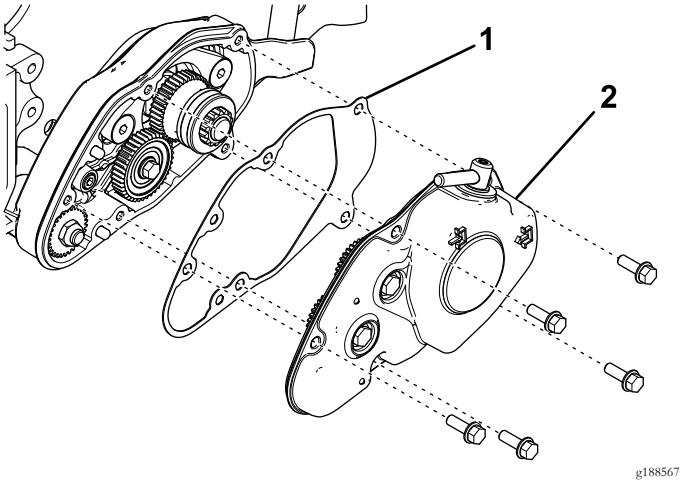


図 1

1. ガスケット
2. グルーマハウジングのカバー

4. 40枚歯のアイドラギアを外す図 2。

© 2016—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

CE

この文書は翻訳です。 (JA)
Printed in the USA
禁無断転載

3408-713 A

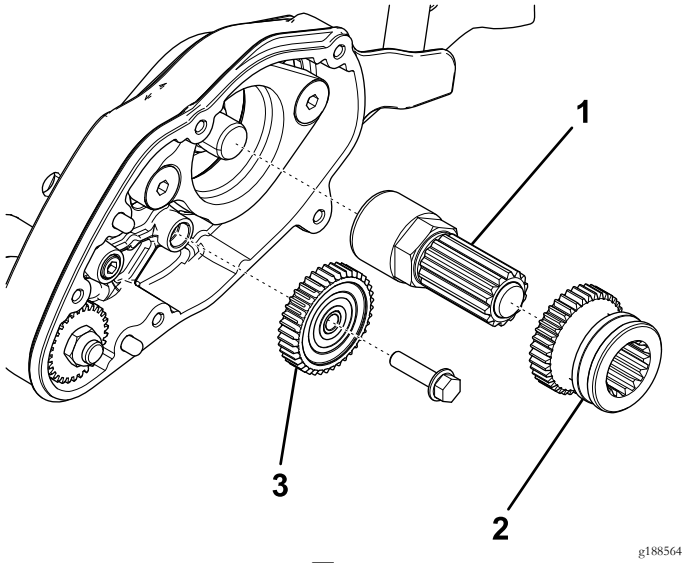


図 2

1. シャフトアセンブリ
2. 駆動ギア
3. 40枚歯のアイドラギア

5. リールシャフトの延長部から駆動ギアとシャフトアセンブリを外す図 2。
6. 調整ノブをサイドプレートに固定しているボルトとワッシャを外す図 3。

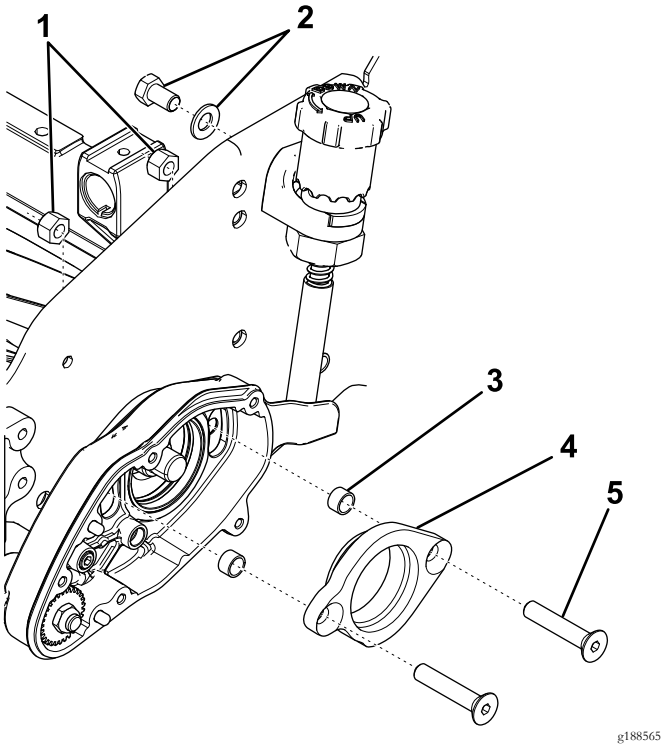


図 3

1. ロックナット
2. 調整ノブの固定具
3. スペーサ
4. ベアリングアダプタ
5. 平頭ねじ

7. グルーマハウジングから平頭ねじ、ロックナット、ベアリングアダプタを外す図 3。
8. スペーサを外して捨てる図 3。
9. グルーマハウジングを外す図 4。

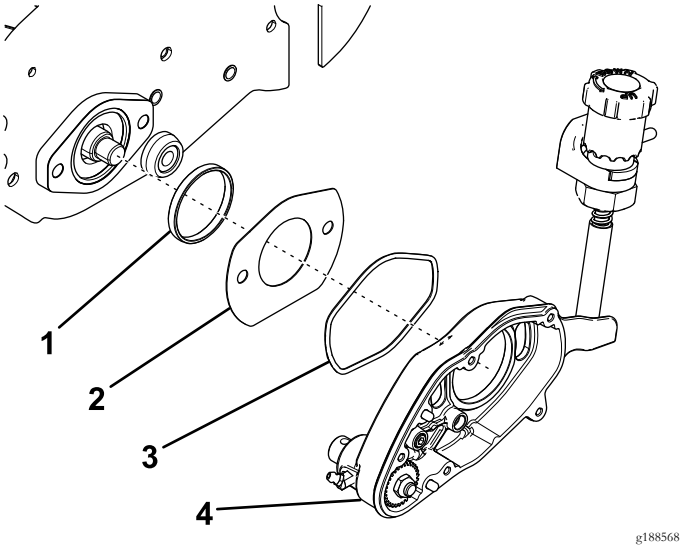


図 4

1. アジャスタリング
2. スロットカバー
3. リング
4. グルーマハウジング

10. Oリングを外して捨てる図 4。
11. スロットカバーとアダプタリングを取り外す図 4。

2

キットの左側部分を取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ガスケット
1	リング
2	スペーサ

手順

1. グルーマハウジングの裏に新しいOリングを取り付け、Oリングの露出面に合成グリスを軽く塗りつける図 5。

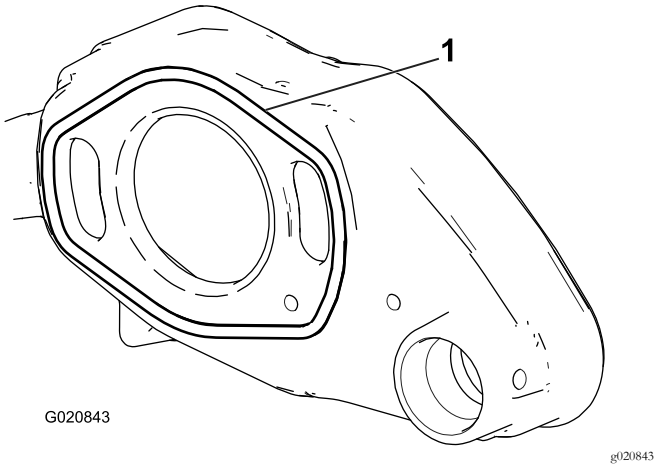


図 5

1. リング

2. サイドプレートのリールベアリングハウジングにアダプタリングを入れる図 6。

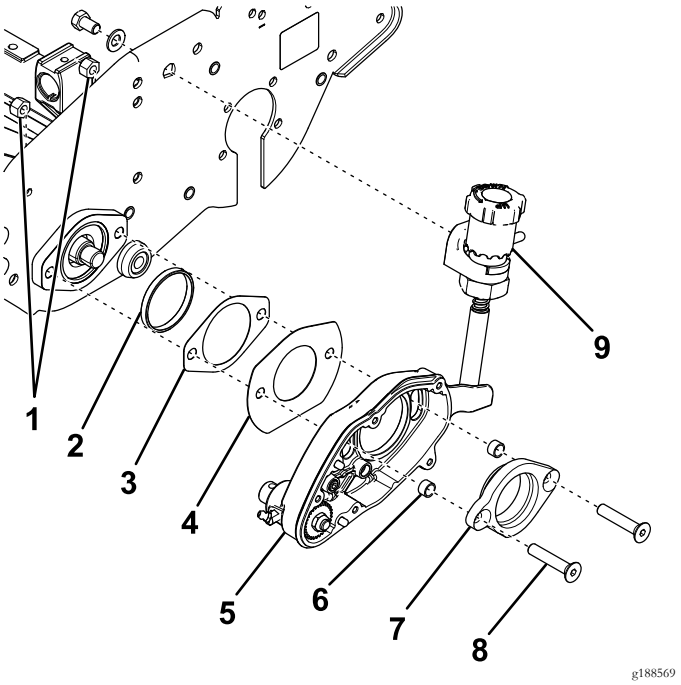


図 6

1. ロックナット
2. アジャスタリング
3. 新しいガスケット
4. スロットカバー
5. グルーマハウジング
6. 新しいスペーサ
7. ベアリングアダプタ
8. 平頭ねじ
9. 調整ノブ

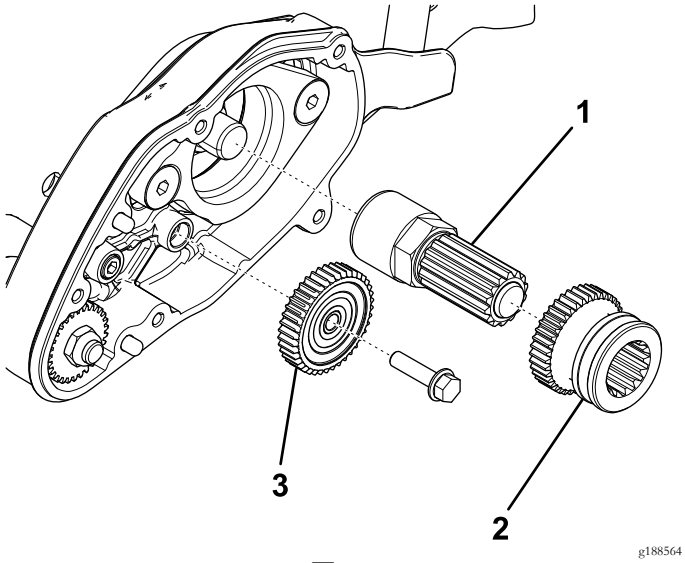
3. ベアリングアダプタに 平頭ねじ2本を差し込み、ねじの端部に新しいスペーサを取り付ける図 6。
4. グルーマハウジングにベアリングアダプタを取り付ける図 6。

   注 ベアリングアダプタが正しい向きになっていることを確認してください。
5. 平頭ねじの上からスロットカバーと新しいガスケットを入れる図 6。

   注 スロットカバーの平たい縁を下にして取り付けてください。
6. リールベアリングハウジングに平頭ねじを入れ、ロックナット 2 個で固定する図 6。

   注 ロックナットを 3137 Nm 3.23.7 kg.m = 23- 27 ft-lbにトルク締めしてください。
7. ボルトとワッシャを使って、調整ノブをサイドプレートに固定する図 6。
8. リールが回転しないように角材などで固定する。
9. リールシャフトの延長部にシャフトアセンブリをねじ込む図 7。

   注 シャフトアセンブリを 5481N ·m5.58.3kg.m = 4060ft-lbにトルク締めしてください。



g188564

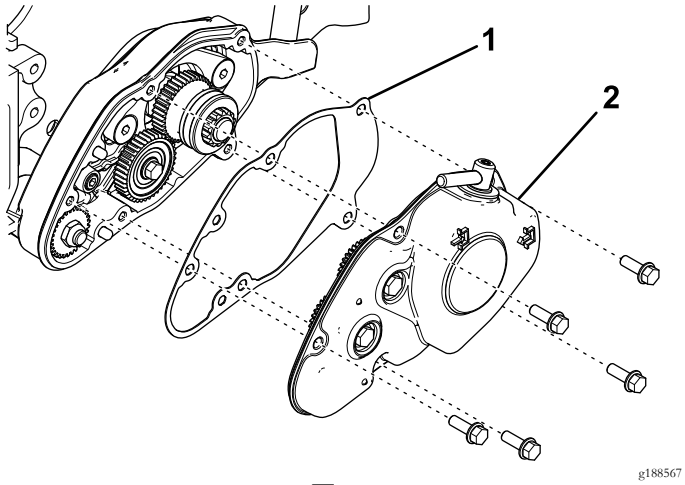
図 7

1. シャフトアセンブリ
2. 駆動ギア
3. 40枚歯のアイドラギア

10. シャフトセンブリに合成グリスを塗ってから駆動ギアを取り付ける図 7。

    注 駆動ギアが正しい向きになっていることを確認してください。

11. 40枚歯のアイドラギアを取り付ける図 7。
12. ギアの歯に合成グリスを塗りつける。
13. グルーマハウジングのダボピンの上からガスケットを載せる図 8。



g188567

図 8

1. ガスケット
2. グルーマハウジングのカバー

14. グルーマハウジングにカバーを取り付けるクラッチアセンブリのアクチュエータピンを駆動ギアの溝に挿入すること図 8。
15. フランジヘッドボルト5本でカバーを固定する図 8。

注 ボルトを 9.610.5N·m1.01.1kg.m = 8595in-lbにトルク締めする。

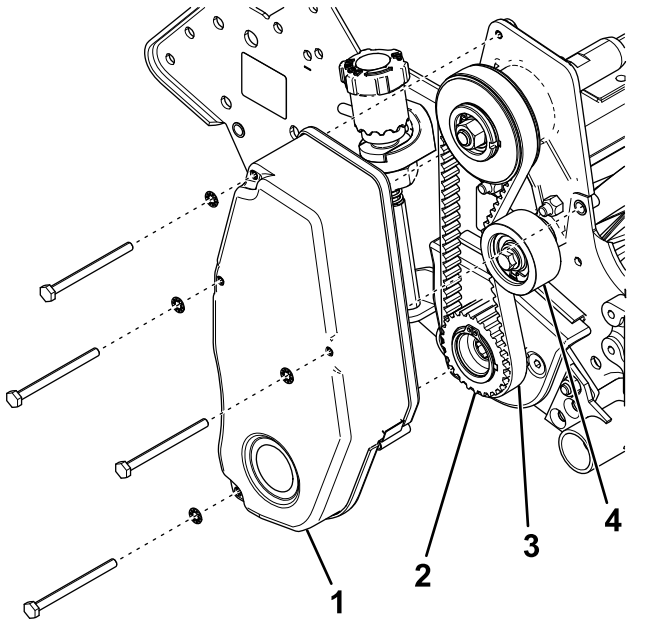
3

機体の右側の準備

必要なパーツはありません。

手順

1. サイドプレートから、リール駆動ベルトのカバーを取り外す図 9。



g188570

図 9

1. リール駆動ベルトのカバー
2. 駆動プーリ
3. リール駆動ベルト
4. アイドラプーリ

2. アイドラプーリをゆるめてリール駆動ベルトを外す図 9。
3. リールシャフトから駆動プーリを外す図 9。
4. サイドプレートから平頭ねじ、ロックナット、グルーマアームカバー、ベアリングアダプタを外す図 10。

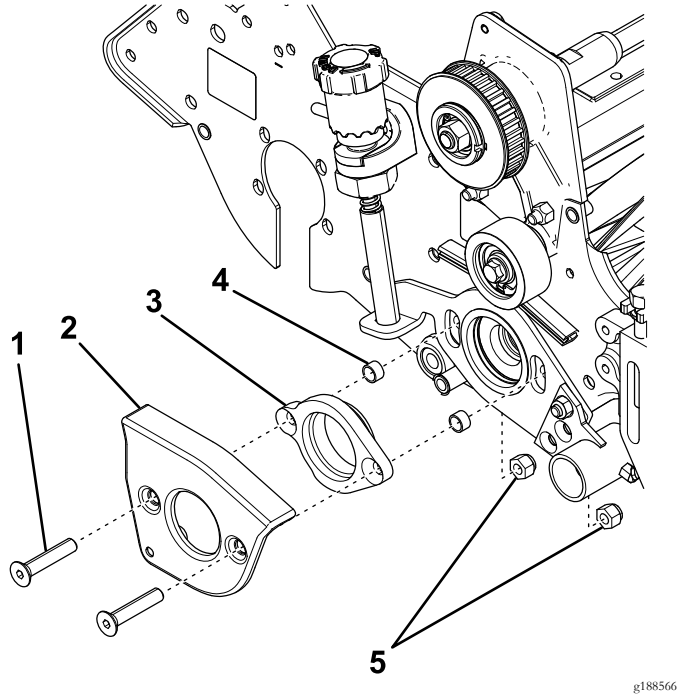


図 10

1. 平頭ねじ
2. グルーマアームカバー
3. ベアリングアダプタ
4. スペーサ
5. ロックナット

5. スペーサを外して捨てる図 10。

4

キットの右側部分を取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	スペーサ

手順

1. グルーマアームカバーとベアリングアダプタに 平頭ねじ2本を差し込み、ねじの端部に新しいスペーサを取り付ける図 11。

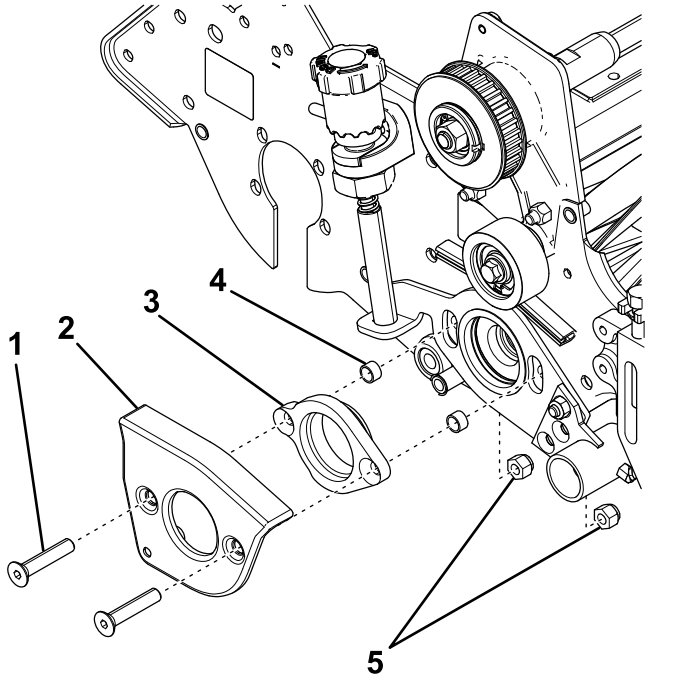


図 11

1. 平頭ねじ
2. グルーマアームカバー
3. ベアリングアダプタ
4. 新しいスペーサ
5. ロックナット

2. サイドプレートに平頭ねじを入れ、ロックナット 2 個で固定する図 11。

   注 ベアリングアダプタが正しい向きになっていることを確認してください。

3. ロックナットを 3137 Nm 3.23.7 kg.m = 23- 27 ft-lbにトルク締めしてください。
4. リールシャフトに駆動プーリを取り付ける図 12。

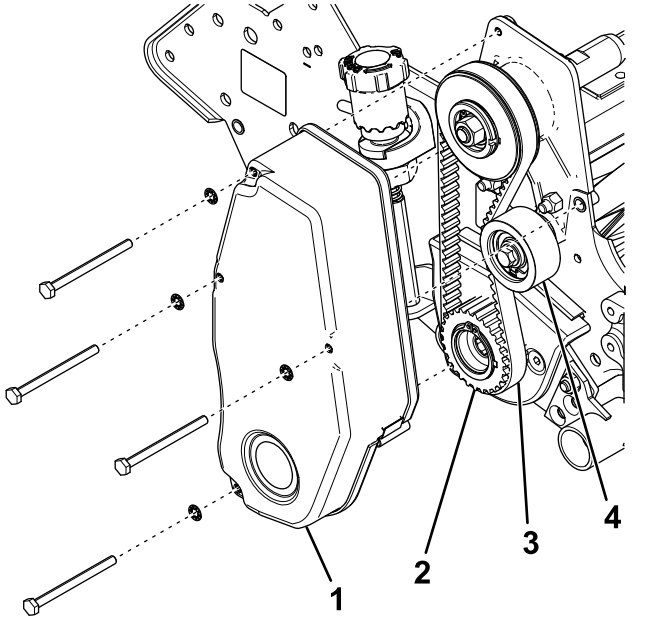


図 12

1. リール駆動ベルトのカバー
2. 駆動プーリ
3. リール駆動ベルト
4. アイドラプーリ

5. リールが回転しないように角材などで固定しておいて、駆動プーリを 5481N·m5.58.3kg.m = 4060ft-lbにトルク締めする。
6. リール駆動ベルトを取り付け、プーリ間の中央でベルトを指で1.5 2.5kg程度の力で押して張りを点検する。

   ベルトのたわみが 6mm あれば適正とする。たわみ張りの調整はアイドラプーリで行う。正しい張りが出たら、アイドラプーリねじを締め付ける。
7. サイドプレートに、リール駆動ベルトのカバーを取り付ける図 12。
8. グルーマリールを取り付ける対応するグルーマ駆動システムの*オペレーターズマニュアル*を参照。

メモ



Count on it.